

研究課題名:有転移前立腺癌に対する薬物及び手術併用療法の有用性の検討
(多機関共同研究)

研究責任者:松波総合病院 泌尿器生殖科部長 萩原 徳康
共同研究者:濱本 幸浩, 榎本 虎偉

研究の概要

有転移前立腺癌の治療薬は日々多様化しており,治療順序に関して一本化した明確なエビデンスが存在しません。また,有転移前立腺癌の患者の原発巣に手術介入を行うことで予後の改善を得られないというエビデンスも存在せず,リアルワールドにおける治療成績の評価を調査することは有用であると考えております。

今回,岐阜大学,高山赤十字病院,松波総合病院,東海中央病院で有転移前立腺癌に対する薬物療法および手術治療を受けられた方を対象とし,登録時に臨床・病理学的情報を診療録より取得し検討します。なお,この研究は岐阜大学医学部附属病院との共同研究で,情報は,匿名化したうえで岐阜大学医学部附属病院へ提供して分析されます。

研究対象者

2015年4月1日~2021年4月30日の期間内に当科で有転移前立腺癌に対する薬物療法および手術治療を受けられた方

利用する情報

一般身体所見(年齢,血圧,身長,体重,P.S.),血液検査(白血球数,白血球分画,赤血球数,ヘモグロビン,血小板数),生化学検査(総タンパク,アルブミン,AST,ALT,LDH,Na,K,Cl,PSA),尿検査(蛋白,糖),自覚症状,生検病理診断,臨床病期,骨転移(EOD score),診断日,治療内容,生存確認日,死亡日,併存治療の有無,内臓転移の有無,有害事象

利用する者:萩原 徳康,濱本 幸浩,榎本 虎偉

研究期間:2025年3月31日まで

連絡先

松波総合病院 泌尿器生殖科部長 萩原 徳康
電話:058-388-0111(代表)
FAX:058-388-2391